2019年度 9.23 (月祝)

一日神学校のご案内

参加は無料
事前申込みは不要です

日本ルーテル神学校
JAPAN LUTHERAN THEOLOGICAL SEMINARY

ルーテル学院大学
JAPAN LUTHERAN COLLEGE / GRADUATE SCHOOL

message

ディアコニアのこころと実践

日本ルーテル神学校 校長 石居 基夫
ルーテル学院大学 学長 市川 一宏

創立 110 周年の記念の年、私たちは改めて、神様から与えられた本学の使命をおぼえる時です。また、特に今年は三鷹の地に本学が移転してから 50 年目を迎えてもいます。

私たちの主イエス・キリストは、ご自身について「仕えられるためではなく、仕えるためにきた」と言われ、私たちにもまた、隣人を愛し、仕えるようにと教えられました。ルーテル教会はその働きをディアコニア と呼び、具体的に地域社会に生きる様々な困難を持つ人々のところに出かけて、その一人ひとりを助ける働きを大切にしてきたのです。社会福祉や幼稚園、保育園をもち、また学校を作ってそのための人材育成を担ってきました。

本学が、三鷹の地に拠点を移し、大学としての使命を確認しつつ、その教育・研究を福祉や臨床心理という分野に展開を作ってきた原点に、「ディアコニア」のこころがあり、その実践があるのです。

今年の「一日神学校」では、私たち自身のうちにディアコニアを実現していけるように、ともに学んで参りたいと思います。どうぞ、お出かけください。

開会礼拝・派遣礼拝

数百名が集う開会聖餐礼拝は圧巻！全国から出席されるルーテル教会員を中心に、心を一つにして礼拝を行います。また最後には、こどもと共になごやかな派遣礼拝を行います。

シンポジウム（午前）講義（午後）

午前中は創立 110 周年・三鷹移転 50 年を記念したシンポジウム。午後は本学の専門分野から各教員陣による講義です。しっかり学んであなたも一日神学生！（講義によっては録音可能）

チャペルコンサート

パイプオルガンの演奏と聖歌隊のコンサートを開催。恒例の在学生スピーチもあります。午後のひとときをどうぞお楽しみください。

ミニショップ　ミニ　二

一日神学校名物ミニショップです。楽しい交わりのときをお過ごしください。

こどもしんがっこう／TEENS プログラム

毎年恒例の幼・小学生対象のこどもしんがっこう、そして中高生世代対象のティーンズプログラムを今年も開催します！

2019年度 一日神学校タイムスケジュール

午前

9:15 受付開始（正面玄関前）

9:45 開会聖餐礼拝（チャペル）

11:10

創立 110 周年・三鷹移転 50 年記念
「ディアコニアのこころと実践」 ［T264 教室］
シンポジスト：
清重　尚弘 名誉教授
前田　ケイ 名誉教授
市川　一宏 学長
コーディネーター：
石居　基夫 校長

こどもしんがっこう H105 教室
TEENS プログラム T262 教室

12:30 昼食と交わりのひととき
各教会のミニショップ（トリニティホール 1 階ラウンジ）

13:30

午後

13:30 お昼のコンサート（食堂）

14:00

響き合う人生
～聖書とルターに学ぶディアコニアの本質～
江口　再起 教授 ［B252 教室］

キリストの心を心とする
～建学の精神とディアコニア～
宮本　新 講師 ［B251 教室］

国境を越えるディアコニアの心と実践から考える
原島　博 教授 ［T263 教室］

学生相談におけるコミュニティ形成の試み
～誰にでも開かれた場所になるために～
植松　晃子 准教授 ［B151 教室］

14:10
チャペルコンサートと在学生スピーチ

こどもしんがっこう／TEENS プログラム

15:20

15:30 派遣礼拝（16:00 終了予定）

H：本館　B：ブラウンホール　T：トリニティホール

- プログラムはご自由にお選びいただけます。
- プログラムの参加は無料です。　当日先着順となります。定員になり次第締め切りさせていただきます。

あなたも一日神学生　プログラムと講師等の紹介

午前　シンポジウム

名誉教授　清重 尚弘

略歴▶　東京大学文学部宗教学科卒業。立教大学修士（組織神学）。ニューヨークユニオン神学校博士課程（旧約聖書学）。1975 年、日本ルーテル神学大学（現・ルーテル学院大学）に着任。1978 年～ 2002 年学長。九州ルーテル学院学長・院長（2002 ～ 16）。

名誉教授　前田 ケイ

略歴▶　ハワイ州立大学社会学部卒業。コロンビア大学ソーシャルワーク大学院修士課程卒業。1977 年、本学の福祉専門教員として勤務、その後、大学院教員として、福祉と臨床心理の学生を教え、2009 年に退職。1983 年からサイコドラマの勉強を始め、ソシオドラマなども実践。また、日本へのソーシャル・スキルズ・トレーニング（SST）導入・普及に大きな貢献をされ、現在も国内各地で精神障がいを持つ方たちと家族への支援，少年院・刑務所などでも SST を実践している。SST 普及協会顧問。

学長・教授　市川 一宏

略歴▶　早稲田大学法学部卒業。日本社会事業学校研究科卒業。東洋大学大学院社会学研究科社会福祉専攻博士前期課程・後期課程修了。1992 ～ 1994 年ロンドン大学ロンドン・スクール　オブ　エコノミックス（LSE）特別研究員。全国各地の実践から、様々な「地域の福祉力」を学び、各地域に合った地域福祉実践を研究テーマとしてきました。特に近年、地域の福祉力を高め、孤立を防ぎ、「おめでとう」で始まり、「ありがとう」で終わる一人ひとりの人生が守られる共生型社会づくりに挑戦しています。

神学校長・教授　石居 基夫

略歴▶　都立大学卒業（現・首都大学東京）（教育学）、日本ルーテル神学大学（現・ルーテル学院大学）卒業（神学）、日本ルーテル神学校卒業、日本福音ルーテル教会牧師、米国ルーサー神学校・博士課程修了。神学博士。

「ディアコニアのこころと実践　～本学の使命とは～」

本学は、1976 年にキリスト教社会福祉コースを設置。本学が教会の働き人を育てることから、地域社会で働く対人援助の人材育成へと向かい使命を広げていく、社会福祉教育をスタートさせました。牧師養成を専門としていた本学は、何をチャレンジしたのでしょう。始められた福祉教育の苦悩と喜び、また、卒業生たちの貢献によって知らされる、本学の使命と誇りとは？ 三人のシンポジストから、当時の証言も交えて語っていただきながら、本学の使命を改めて確認したいと思います。

午後　講義

教授　江口 再起

略歴▶　獨協大学、日本ルーテル神学大学（現・ルーテル学院大学）、日本ルーテル神学校卒業。ドイツ・エルランゲン大学留学。日本福音ルーテル教会牧師。東京女子大学教授（2015 年まで）。日本ルター学会理事長。

「響き合う人生 ～聖書とルターに学ぶディアコニアの本質～ 」

助ける力は、どこからわいてくるのでしょうか。ディアコニア（助ける働き）の根底には何があるのでしょうか。また北欧の福祉国家（助け合う社会）は、ルター派の国々です。なぜでしょうか。謎です。

ルターは人間を自由だが、他方「奉仕する僕」と定義しました。まさにディアコニア的人間です。また創世記は、アダムとイブが「ふさわしい助け手」として造られたと語っています。どうやらこの辺りに謎の答がありそうです。共に考えてみましょう。

専任講師　宮本　新

略歴▶　同志社大学法学部、ルーテル学院大学・神学校、米国シカゴ・ルーテル神学校博士課程修了。Ph.D(神学)。日本福音ルーテル教会牧師（みのり教会、博多教会・福岡西教会、田園調布教会）を経て、現職。

「キリストの心を心とする ～建学の精神とディアコニア～ 」

ディアコニア（仕える）は聖書が伝えるイエスの宣教にまでさかのぼります。「イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病気や患いをいやされた」(マタイ 9 章 35 節)。そこで人々が触れたのは「キリストの心」でした。講義では神様の「深い憐れみ」に思いをめぐらし、世界に広がり、また「ルーテル」で今も分かちあわれるディアコニアとそのミッションを考える機会にしたいと思います。

教授　原島　博

略歴▶　日本ルーテル神学大学（現・ルーテル学院大学）卒、国立フィリピン大学大学院社会福祉・地域開発修士課程修了。
国際協力を行う NGO の組織運営やプロジェクトマネジメントなどの現場での実践経験を活かした授業を展開している。

「国境を越えるディアコニアの心と実践から考える」

世に仕えるキリスト教の働きとしてディアコニアがあります。ノルウェーの神学者ノルストッケ氏は、ディアコニアの働きを教会のディアコニア、施設のディアコニア、国際的なディアコニアに分類しています。本講義では、国際的なディアコニアを取り上げ、国境を越えてディアコニアの働きをするキリスト教系国際 NGO がどのように組織化され、どのような実践をし、どのように発展してきたかを、主要なキリスト教系国際 NGO を取り上げ比較してみたいと思います。

准教授　植松 晃子

略歴▶　明治学院大学文学部心理学科卒、お茶の水女子大学人間文化研究科博士前期課程修了、博士後期課程単位取得退学。博士（人文科学）。臨床心理士、公認心理師、精神科クリニック、学生相談、非常勤講師勤務を経て現職。

「学生相談におけるコミュニティ形成の試み～誰にでも開かれた場所になるために～ 」

大学の学生相談では、個別の心理相談に限らずアウトリーチ活動が重視されています。相談室が大学コミュニティの中で明確な存在感を示しながら、誰にでも開かれた場所になっていくための試みは、地域における教会の在り方や取り組みと重なる部分があるのではないでしょうか。講義では、これまでの研究データからアウトリーチ対策では重要になる要因かを明らかにするとともに、本学の学生相談室の取り組みを紹介したいと思います。

こどもしんがっこう 2019
「君にできること」

イエス様は神さまなのに、ひざまずいてお弟子さんたちの足をあらったんだって！そして言われるんだ「あなたたちも同じようにしなさい」。どういうことかな？

こどもしんがっこうでは、イエス様のなさったことを学び、みんなのできることを考えてみます。大学や神学校のおにいさん、おねえさんが、おやつや楽しいゲームをじゅんびして、みんなが来るのを待っています。ようじから小学生までさんかできます。

TEENS プログラム 2019
「でぃあこにあ」

ディアコニアって聞いたことがありますか？これは「奉仕」を意味する言葉です。イエスの生涯そのものがディアコニアであったことから、教会でも常に「奉仕」について考え、取り組んできました。今を生きる私たちもこの自分の「でぃあこにあ」について考えましょう。

今年の TEENS プログラムも JELC 東教区教育部 NEXT と NRK 関東地区ジュニア・ユースとの共催として開催されます。楽しい企画もあります。中高生世代の方の参加をお待ちしています。

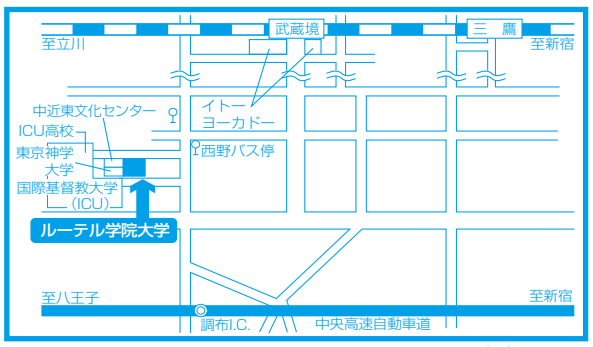
会場・お問合せ先

日本ルーテル神学校・ルーテル学院大学

〒181-0015　東京都三鷹市大沢3－10－20
☎ 0422－31－4611（代表）

- ＪＲ中央線「武蔵境駅」南口より小田急バス「吉01」「境91」「境93」のいずれかに乗り8分。「西野」下車徒歩3分。
- 京王線「調布駅」北口より小田急バス「境91」「鷹51」のいずれかに乗り20分。「西野」下車徒歩3分。

昼食時には軽食を販売いたします。
また、手作りケーキ、コーヒー等を売る
ミニショップも出店予定です。



GREEN PRINTING JFPI P-D10010
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。